



教育目標： 郷土に誇りを持ち 未来を拓く 心豊かな子どもの育成
～夢と目標 努力と挑戦 自信と誇りを身に付けた子どもを育てる～

後期が始まりました

5日間の秋休みが終わりました。3連休もあり、スポーツの秋、読書の秋、食欲(おいしい食べ物)の秋等、秋を満喫されたのではないのでしょうか。さて、今日から後期が始まりました。5日ぶりに子どもたちの元気な声が、校舎内で聞こえてきて、うれしく思いました。本日の始業式では次のような話をしました。



学校教育目標「夢と目標 努力と挑戦 自信と誇り」を確認して、3つのことを話しました。①SDGsをベースにした各委員会の目標が決まりました。その中から児童運営委員会委員長から「みんながボランティア活動をする学校」を目指すために、みんなで挨拶運動をしましょうと呼びかけました。他の委員会の目標は掲示や放送で呼びかけていきます。②合志中学校区での共通実践の「KOSHI 体」です。後期は「Hの人を見て話を聞いたり、発表したりすること」をお願いしました。③後期は次の学年への準備であること、1つ上の先輩の姿を見て、憧れをもってその姿に近づくよう取り組んでほしいと話しました。

後期も「自信貯金」を続けていきます。「学習」「生活」「委員会活動」「持久走大会」などに向けて、「目標」をもって、「努力」と「挑戦」をして、新たな「自信」と自身や地域の「誇り」を見つけてほしいと思います。

4年生がホタル幼虫放流を行いました

10月8日(火)に4年生が総合的な学習の時間で「ホタル幼虫放流」を行いました。上庄魅力化推進委員会(ホタル保存会)の緒方会長をはじめ、多くの方々にご協力いただきました。まず、合志小学校出身の必由館高等学校



3年生の瀧下陽奈さんに演題「後輩へ受け継いでほしいこと」として講話をしてもらいました。瀧下さんから、小学生時のホタル学習したときの思いや5月のホタル祭りイルミネーションの準備にボランティアで参加したときの思い等の話がありました。最後に、ホタルは人と人をつなげていること、卒業しても地域のホタル活動に関わってほしいこともありました。その後、竹迫城跡公園の北側に移動し、

保存会の方々のご指導のもと、ホタルの幼虫とえさのカワナをそっと放流しました。

これで終わりではありません。これから4年生が、地域のために活動していこうとする心が育つことを期待しています。子どもたちが合志小校区(ふるさと)に「誇り」をもつ子どもに育ててほしいと思います。上庄魅力化推進委員会の皆様、本当にありがとうございました。

